

## 複雑化・多様化する児童や保護者のニーズにこたえる これからの学校

「一昔（ひとむかし）前は、駅のホームで普通にタバコが吸えたのに・・・」

愛煙家が嘆く話題の一つに喫煙場所の縮小化が挙げられます。一昔前は駅のホームどころか、新幹線等の座席、旅客機の座席、種々の会議の席でも喫煙する方の姿を見かけたものです。ところで、こうした際に用いる「一昔前」とは、いったいいつのことを指すのでしょうか。実用日本語表現辞典によると「時代の隔たりを感じさせる程度の昔。」、精選版日本国語大辞典では「昔として感じられるほどの過去。ばくぜんと考えられるひと時代前。」と記されています。つまり、何年前といった具体的な数字で表されるものではなく、「文化、行動、ふるまいなどが、もう昔のことになったと感じられる過去」という概念的な解釈が適当なのでしょう。学校での喫煙に特化して考えると、校地内で喫煙可だった頃が一昔前だとすると、職員室での喫煙が当然だった頃は二昔前、教室でタバコをふかしながら〇（マル）つけをする先生もいた私が子どもの頃は三昔前とでもいうのでしょうか・・・。

さて、文化や習慣というものは突然変化するのではなく、喫煙の例のように、時代背景や社会の要請を踏まえ、次第に変化していくものが多いです。「学校」も時代に応じて変化しています。

例えば、小学校で勤務する教職員を取り上げてみます。私が小学生の頃は、校長、教頭、担任、専科、養護、学校事務、調理員、用務員といった構成が一般的でした。それが、平成20年を過ぎる頃になると、不登校、いじめ、児童虐待等、深刻化する子どもの問題に対応するため、SC（「スクールカウンセラー」心理相談業務に従事する専門職）やSSW（「スクールソーシャルワーカー」教育分野に加えて社会福祉等の知識や経験を有する専門職）といった職員が市教委等に配置され学校に派遣されるようになりました。さらに、小学校における外国語活動の進展を目的にALT（外国語指導助手）も導入されました。所管の教育委員会の施策や学校の規模にもよりますが、現在、本校では、心理サポーター、スクールサポーター、学びのパートナー、サイエンスサポーター、スクールサポートスタッフ、図書館司書、特別支援学習支援員、介助員といった様々な職種の職員が働いています。

こうした、一昔前とは異なる、多様な専門性をもつ職員が配置されるようになった背景には、学校が抱える課題の複雑化・多様化、学習内容の変化があります。そのため、これからの学校には、従来の教員と多様な専門性を持つ職員がそれぞれの専門性を生かして連携・協働する「チームとしての学校」を作り上げていくことが求められています。ご興味のある方はネット等で「チーム学校」とご検索いただくと文部科学省資料をはじめとするたくさんの資料が出てきますのでご覧ください。

一方、チームがつく言葉で最近教育現場で話題になっているのが「チーム担任制」です。各クラスに固定の担任を置かず、月や週ごとに複数の教員で担任をローテーションしていくというもので、子ども達を一人の担任ではなく、学年全体、学校全体で見ているという主旨のもと導入する学校が全国で増えているようです。すでに導入された学校等によるメリットとデメリットが検証されていたので、次表にまとめています。それぞれ一長一短あるようですが、導入された学校には喫煙の課題があったのでしよう。

【メリット】	【デメリット】
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの長所や能力をさらに伸ばすことができる</li> <li>• 子どもが先生を選んで相談できる</li> <li>• 子どもを多角的、多面的に見ることができる</li> <li>• 多様な教育ニーズに応えることができる</li> <li>• 教員同士のコミュニケーションが密になり学び合いにつながる</li> <li>• 教員の働き方改革につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもとの強いつながりや信頼関係が築きづらい</li> <li>• 保護者がどの先生に相談すれば良いかわかりづらい</li> <li>• 責任の所在があやふやになる</li> <li>• 教員同士の連携がとれないと混乱の元となる</li> <li>• 「情報共有」という手間が増える</li> <li>• 学習評価が難しい</li> </ul>

本校では、高学年において複数の教科で「教科担任制」を実施しています。具体的な内容として、専科教員が指導する、図工、音楽、体育、外国語に加えて、3クラスの担任が、社会、理科、家庭科のうち1教科を担当し、全クラスで授業をしています。3名の担任は学年全ての子どもと接していることから、ある児童に心配事があるとすぐに共有を図ることができます。加えて、1つの教科を3クラス共通で指導することから、教材研究が深まり質の高い授業の提供にもつながります。

一昔前、小学校では、ほとんどの教科を学級担任が指導していました。今回ご紹介したチーム担任制や教科担任制が「一昔前の取組」となる未来の学校は、いったいどのようなものなのでしょうか。

## 「都市計画道路 競馬場高丸線 道路整備事業」による南門の再開

この度、道路建設課より新たな説明を受けましたので、下記の通りお知らせします。

- 南門付近の歩道の最終仕上げ工事が1/30に予定されている。
- 予定通り進めば、2/1の登校時から、原条橋の歩道利用とともに南門利用を再開する。（従来に戻る）
- 天候によっては仕上げ工事がずれ込むことがあるとのことで、上記は順延となる。その際は、順延の期間のみ西門を利用する。（順延となった場合は、都度、児童及び愛護部に連絡をします。）

（校長 山下 昌裕）

## 2月行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	図工展（～3日）、SSW 来校日	16	金	ALT(3,6年)
2	金	オープンスクール(2校時～昼休み)	17	土	
3	土	オープンスクール(2～4校時)、給食なし	18	日	
4	日		19	月	参観・懇談(中学年)、自然学校説明会(4年)
5	月	図工展代休	20	火	参観・懇談(低学年)、SC 来校日、市内一斉防犯活動日
6	火	オンライン朝会、図工展片付け	21	水	美スケッチ
7	水	入学説明会、美スケッチ(PTA 美化委員会による清掃活動)	22	木	仁川っ子活動、SSW 来校日
8	木	登校指導	23	金	<b>【3月の主な予定】</b> 3/13 地区児童会 3/22 卒業式(1～4年家庭学習日) 3/25 修了式
9	金		24	土	
10	土		25	日	
11	日		26	月	参観・懇談(高学年、さくらんぼ)
12	月	建国記念日	27	火	社会科見学予備日(3年)、ALT(6年)
13	火	昔遊び(1年)、社会科見学(3年)、ALT(5年)	28	水	委員会活動、美スケッチ
14	水	クラブ活動、美スケッチ	29	金	6年生を送る会、SSW 来校日
15	木	SSW 来校日			